



平成27年5月14日

各 位

会社名 日本ヒューム株式会社
代表者名 取締役社長 野村 静夫
[コード番号 5262 東証第一部]
問合せ先 専務取締役 大川内 稔
[電話 03-3433-4111]

「日本ヒュームグループ中期経営計画」に関するお知らせ

当社は、会社創立90周年にあたる平成27年度からの3力年に亘る新中期経営計画「Evolution All Japan」を策定しましたので、お知らせいたします。

記

新中期経営計画では、前中期経営計画「All Japan-90」をさらに進化させるべく、下記の基本方針と3つの基本戦略を掲げ、会社創立100周年に向けた企業価値の向上に向けて取り組んでまいります。

1. 基本方針

日本ヒュームグループは、企業理念であります「安全・安心な社会基盤の整備に参加し、豊かな環境づくりに貢献する」ため、総合コンクリート二次製品製造会社として技術開発および品質向上に努めると共に、それら製品の土木・建築工事会社として施工法開発および施工品質の向上に努め、社会や顧客の信頼を得て安定的な利益と持続的成長を目指します。

2. 基本戦略

当社を取り巻く経営環境は、依然として熾烈な受注・価格競争を強いられるなど厳しい状況が続くものと思われませんが、国内建設市場の抱える人手不足といった課題、安全・安心な社会基盤作りに当社の持てるコンクリートプレキャスト製品や施工技術は最適なソリューションをご提供できるものと考えており、以下に掲げる基本戦略に基づいて積極的に取り組んでまいります。

(1) グループ成長戦略

日本ヒュームグループは、90年間培ったコンクリート二次製品に関する製品開発および工法開発を会社創立100周年に向けてさらに進化させ、

①事業領域の拡大（規模の追求）

- ②営業による差別化
- ③コア技術開発による差別化
- ④「将来に向けた収益源「環境・エネルギー事業」の開発・育成

をもって、社会や顧客の抱える課題に応えることで持続的成長を目指してまいります。

(2) 競争力向上戦略

日本ヒュームグループは、他社より競争力のある価格を実現し、かつ安定した利益を確保できる低コスト構造を引き続き創出するため、

- ①調達体制の強化
- ②生産・工事体制の効率化
- ③生産技術・工事技術開発によるコスト削減、環境への対応
- ④機構改革、業務改革による間接部門のコスト削減
- ⑤ホワイトカラーの生産性向上

を引き続き深化させ、社会や顧客の信頼という競争力の向上を目指してまいります。

(3) 経営基盤強化戦略

日本ヒュームグループは、安全・高品質・高付加価値製品や技術のご提供、環境への対応など、社会に信頼されてはじめて安定した利益や持続的成長が実現できることを念頭に、

- ①リスクマネジメント体制の整備、強化
- ②人事制度と人材育成の基盤強化（現場力の強化）
- ③海外事業の経営基盤強化
- ④国内関係会社の経営基盤強化
- ⑤見える化による経営管理基盤強化
- ⑥キャッシュフロー経営の強化

を進化させ、会社創立100周年という次の10年を見据えた当3カ年のガバナンス強化に取り組んでまいります。

3. 目標

日本ヒュームグループは当中期経営計画に沿って、安定的な配当を目指すとともに、自己株式取得を推進し、総合的な株主還元の実現に努めてまいります。

	平成26年度実績 (2014/4~2015/3)	平成29年度目標 (2017/4~2018/3)
売上高	360億円	500億円
経常利益	41.7億円(*)	40億円
自己資本経常利益率	14.9%	12.1%

*:平成26年度については持分法投資利益による負ののれん(約10.8億円)を含んでおります。

以上